



コロナ禍でも受診を 特定健診とがん検診

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

令和2年度の安来市国民健康保険被保険者対象の特定健康診査（以下、特定健診）の受診率は、令和元年度と比べて高くなりました。しかし、がん検診では、新型コロナウイルス感染症の影響により、検診の実施方法の変更や受診定員の減少があったため、令和元年度と比べてほとんどの検診（肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診）で受診率が低下しました。

「自覚症状が現れにくい」そんな病気は少なくありません。だからこそ、定期的な健康診断とがん検診で健康状態をしっかりとチェックすることが大切です。

健康診断やがん検診は何のために受けるの？



▲定期的に受けましょう。

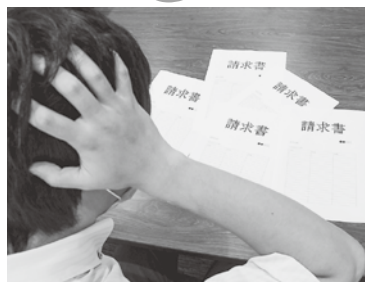
病気や基礎疾患を早期に発見し、治療するためです

新型コロナウイルス感染症への感染を恐れて健康診断やがん検診の受診を控えている人もいるかもしれません。しかし、同感染症は、糖尿病や高血圧症などの基礎疾患のある人が重症化しやすいといわれています。

健康診断やがん検診は、病気や基礎疾患を早期に発見し、治療するために必要なものであり、「不要不急」なものではありません。受診しないことで、がんや心疾患、脳血管疾患など命にかかわる他の病気の発見が遅れてしまい、最適な治療が受けられなくなる可能性があります。

基礎疾患のある人や高齢者など、受診による感染リスクが心配な人は、まず、かかりつけ医や受診する医療機関にご相談ください。

健康状態に不安がない人は受けなくても良いの？



▲早期治療は、経済的な負担を抑えることもできます。

早期の段階で無症状の病気は多いので受診が必要です

2人に1人はかかるといわれている「がん」。早期がんでは無症状であることがほとんどです。島根県で平成19年から平成27年にがんと診断または治療された患者さんは、「がん検診・健康診断・人間ドック」で早期がんを見つけるケースが多かったと報告されています。

がんを早期に発見できれば、それだけ治る可能性が高く、治療も軽くすむことが多いため、身体的な負担を抑えることができます。早期の段階で見つけられるように、定期的ながん検診を受けましょう。

